

2015年3月期第2四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料



2014年11月25日

東証一部 証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

INDEX

I. 決算の概要

- 1. 決算概要(連結)(セグメント別) …P 4
- 2. 損益計算書(連結、個別) …P 6
- 3. 部門別の概況 …P 8
- 4. 貸借対照表(連結、個別) …P13
- 5. キャッシュ・フロー(連結) …P17

II. 2015年3月期 業績見通し

- 1. 業績見通し(連結、個別) …P19
- 2. 配当 …P21

III. 中期経営計画の進捗

- 1. 中期経営計画について …P23
- 2. 中期経営計画の初年度実績 …P24
- 3. 中期経営計画における海外戦略 …P25
- 4. 中期経営計画(各部門別成長戦略) …P26

IV. 最近のトピックス …P30

参考資料

- ・用語集 …P32



I. 決算の概要

1. 2015年3月期第2四半期 ①決算概要

● 経営環境

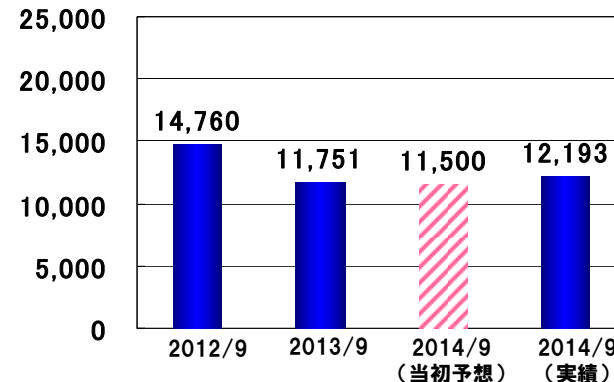
- 公共投資などは堅調に推移、景気は緩やかな回復基調が続く。
- 設備投資に足踏みが見られるなど、景気の一部に弱さも存在。

● 決算概要

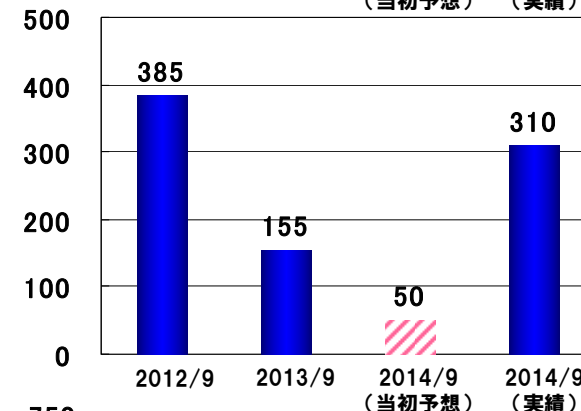
- 売上の一部に前倒しがあったこと、鉱産物市況に底打ち感が出たこと等により
売上高、営業利益、経常利益共
当初予想、前年を上回る結果

- 売上高・・・121億9千3百万(前年同期比+3.8%)
- 営業利益・・・3億1千万(前年同期比+99.7%)
- 経常利益・・・4億5百万(前年同期比+109.4%)

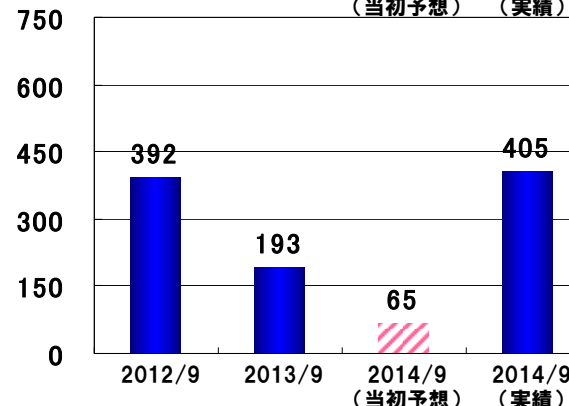
■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益 (百万円)

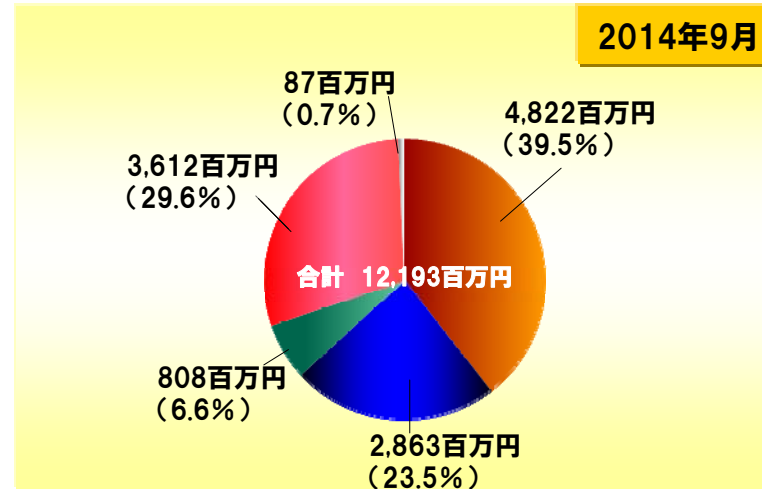
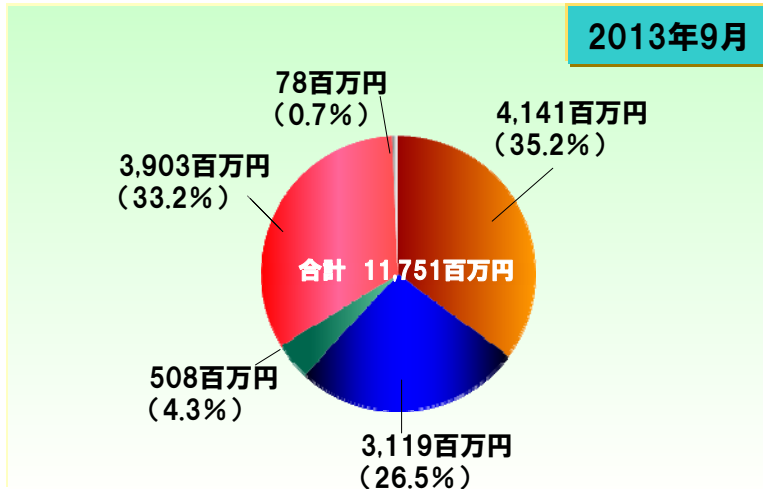


■ 経常利益 (百万円)

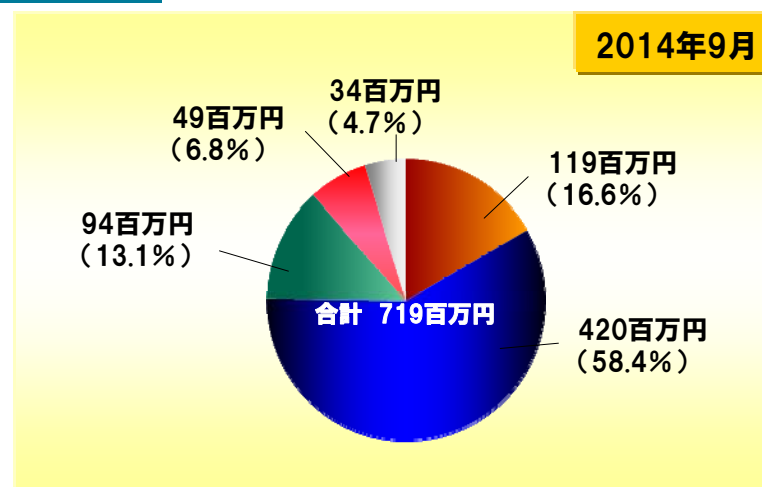
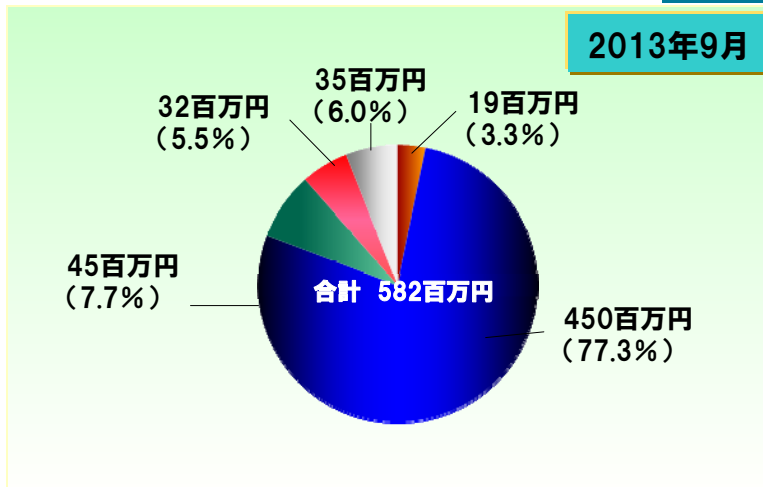


1. 2015年3月期第2四半期 ②決算概要(セグメント別)

● 売上高



● 営業利益



注) 連結営業利益構成比は、
 全社費用を除く
 報告セグメント合計を分母
 として算出。

2. 2015年3月期第2四半期 ①連結の損益計算書

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2013.9)		当第2四半期			
			当初予想		実績(2014.9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	11,751	100.0	11,500	100.0	12,193	100.0
資源・金属素材関連	4,141	35.2	4,585	39.9	4,822	39.5
産機・建機関連	3,119	26.5	2,730	23.7	2,863	23.5
環境設備関連	508	4.3	650	5.7	808	6.6
化成品関連	3,903	33.2	3,445	30.0	3,612	29.6
不動産賃貸関連	78	0.7	90	0.8	87	0.7
その他	-	-	-	-	-	-
売上総利益	1,723	14.7	1,647	14.3	1,888	15.5
販売費及び一般管理費	1,568	13.3	1,597	13.9	1,578	12.9
営業利益	155	1.3	50	0.4	310	2.5
営業外収支	38	0.3	15	0.1	95	0.8
経常利益	193	1.6	65	0.6	405	3.3
特別利益	1	0.0	-	-	29	0.2
特別損失	69	0.6	-	-	39	0.3
税引前四半期利益	125	1.1	-	-	395	3.2
四半期純利益	61	0.5	35	0.3	229	1.9
1株当り四半期純利益(円)	5.40	-	3.05		20.03	

2. 2015年3月期第2四半期 ②個別(ラサ商事)の損益計算書

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2013.9)		当第2四半期			
			当初予想		実績(2014.9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	7,799	100.0	8,000	100.0	8,528	100.0
資源・金属素材関連	4,141	53.1	4,585	57.3	4,822	56.5
産機・建機関連	3,119	40.0	2,730	34.1	2,863	33.6
環境設備関連	508	6.5	650	8.1	808	9.5
化成品関連	-	-	-	-	-	-
不動産賃貸関連	29	0.4	35	0.4	33	0.4
その他	-	-	-	-	-	-
売上総利益	1,509	19.3	1,450	18.1	1,664	19.5
販売費及び一般管理費	1,410	18.1	1,449	18.1	1,425	16.7
営業利益	98	1.3	1	0.0	239	2.8
営業外収支	57	0.7	24	0.3	39	0.5
経常利益	156	2.0	25	0.3	279	3.3
特別利益	1	0.0	-	-	3	0.0
特別損失	65	0.8	-	-	0	0.0
税引前四半期利益	92	1.2	-	-	282	3.3
四半期純利益	56	0.7	10	0.1	175	2.1

3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

●金属シリコンが前期比大幅な売上増

【ジルコンサンド】 需要はまだみだが、価格に底打ち感
 【その他の商品】 チタン原料、クローラクレーンは好調に推移
 輸入原料は伸び悩み

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2013.9)	当期 (2014.9)	増減額	増減率	前期 (2013.9)	当期 (2014.9)	増減額	増減率
ジルコンサンド	1,511	1,343	▲168	▲11.1	1,516	1,353	▲163	▲10.8
チタン原料	703	838	135	19.2	660	839	179	27.1
輸入原料	567	579	12	2.1	410	520	110	26.8
金属シリコン	1,041	1,697	656	63.0	996	2,083	1,087	109.1
クローラクレーン	88	140	52	59.1	151	183	32	21.2
その他商品	228	224	▲4	▲1.8	223	223	0	0.0
合計	4,141	4,822	683	16.5	3,958	5,204	1,246	31.5
(粗利益率)	(4.4)	(6.7)			(4.2)	(6.6)		

3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 売上については全体に横ばいかやや減少
- 受注については増加、特にシールド掘進機の増加が大きい

【産機】 ワーマンポンプ他、全体に横ばい程度

【建機】 シールド掘進機は、前期好調の反動で減少するも、予想は上回る結果

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2013.9)	当期 (2014.9)	増減額	増減率	前期 (2013.9)	当期 (2014.9)	増減額	増減率
ワーマンポンプ	1,418	1,373	▲45	▲3.2	1,606	1,542	▲82	▲5.1
ヒドロスタルポンプ	382	343	▲39	▲10.2	631	700	69	10.9
その他ポンプ	168	186	18	10.7	220	213	▲7	▲3.2
その他産業機械	308	300	▲8	▲2.6	419	473	54	12.9
産業機械 計	2,278	2,202	▲76	▲3.3	2,878	2,930	52	1.8
シールド掘進機	726	562	▲164	▲22.6	881	991	110	12.5
その他建設機械	114	99	▲15	▲13.2	124	102	▲22	▲17.7
建設機械 計	841	661	▲180	▲21.4	1,005	1,093	88	8.7
合計	3,119	2,863	▲256	▲8.2	3,884	4,023	139	3.6

3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備の大型案件の計上はないものの
ポンプ本体の売上が寄与し大幅な増収、受注高も増加

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2013.9)	当期 (2014.9)	増減額	増減率	前期 (2013.9)	当期 (2014.9)	増減額	増減率
水砕スラグ製造設備	219	366	147	67.1	359	295	▲64	▲17.8
ブツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	203	333	130	64.0	289	395	106	36.7
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	85	109	24	28.2	100	113	13	13.0
合 計	508	808	300	59.1	750	804	54	7.2

3. 部門別の概況 ④化成品関連

- イズミの担うセグメント
- 売上減は不採算取引等の見直し、飯能工場閉鎖によるもの

	売上高			
	前期 (2013.9)	当期 (2014.9実績)	前期比	
			増減	増減率
化成品関連	3,903	3,612	▲291	▲7.5

<参考 イズミ(株)決算>

(単位:百万円・%)

	前期 (2013.9)		当期 (2014.9実績)		前年対比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	3,952	100.0	3,668	100.0	▲284	▲7.2
化成品関連	3,903	98.8	3,612	98.5	▲291	▲7.5
不動産賃貸関連	49	1.2	56	1.5	7	14.3
売上総利益	214	5.4	226	6.2	12	5.6
販売費及び一般管理費	146	3.7	143	3.9	▲3	▲2.1
営業利益	68	1.7	83	2.3	15	22.1
経常利益	62	1.6	132	3.6	70	112.9
税引前当期利益	58	1.5	119	3.2	61	105.2

3. 部門別の概況 ⑤不動産賃貸関連

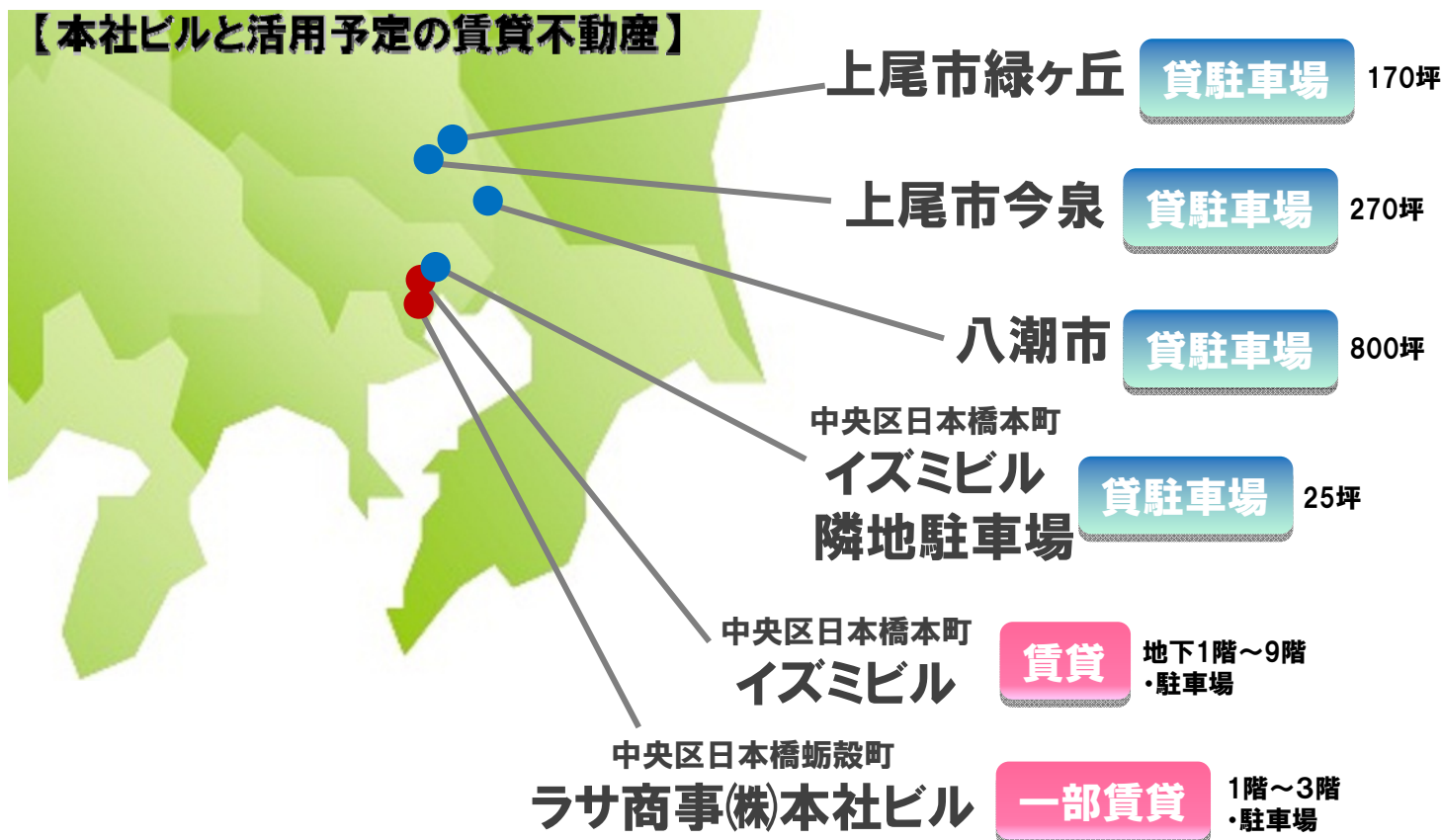
- 空室率6.8%(イズミビル8階55坪部分が空室)
- 不動産賃貸収入78百万円(2013.9)→87百万円(2014.9)(+9百万円)
- 飯能工場についても工場閉鎖後の有効活用を検討中

・イズミビル 合計 (560坪)

9	賃貸中 (33坪)
8	空 (55坪)
7	賃貸中 (66坪)
6	賃貸中 (66坪)
5	賃貸中 (66坪)
4	賃貸中 (66坪)
3	賃貸中 (66坪)
2	賃貸中 (60坪)
1	賃貸中 (34坪)
B1	賃貸中 (48坪)

・RASA日本橋ビル合計 (253坪)

8	ラサ本社	
7	ラサ本社	
6	ラサ本社	
5	ラサ本社	
4	ラサ本社	イズミ本社
3	賃貸中 (114坪)	
2	賃貸中 (102坪)	
1	賃貸中 (37坪)	



4. 貸借対照表 ①資産の部(連結)

(単位:百万円・%)

	前期末 (2014.3)		当第2四半期末 (2014.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	14,882	62.6	14,366	61.9	▲516	▲3.5
現金及び預金	1,929		1,965			
受取手形及び売掛金	8,701		7,680			
商品及び製品	4,040		4,458			
その他	210		263			
固定資産	8,905	37.4	8,831	38.1	▲74	▲0.8
有形固定資産	6,178	(26.0)	6,123	(26.4)		
土地	4,667		4,652			
建物及び構築物	1,430		1,393			
その他	80		78			
無形固定資産	198	(0.8)	178	(0.8)	▲20	▲10.1
投資その他資産	2,528	(10.6)	2,529	(10.9)		
投資有価証券	1,647		1,666			
その他	880		863			
資産合計	23,787	100	23,197	100	▲590	▲2.5

4. 貸借対照表 ②負債・資本の部(連結)

(単位:百万円・%)

	前期末 (2014.3)		当第2四半期末 (2014.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	9,444	(39.7)	8,747	37.7	▲696	▲7.4
支払手形及び買掛金	4,753		4,013			
短期借入金	2,600		2,950			
1年内返済予定の長期借入金	477		587			
1年内償還予定の社債	737		634			
未払法人税等	351		152			
その他	525		411			
固定負債	3,704	(15.6)	3,625	(15.6)	▲79	▲2.3
社債	1,297		1,000			
長期借入金	1,408		1,647			
繰延税金負債	444		447			
退職給付引当金	379		351			
その他	174		178			
負債合計	13,149	55.3	12,365	53.3	▲784	▲6.0
株主資本	10,501		10,645			
その他の包括利益累計額	136	(44.1)	186	(45.9)		
少数株主持分	-		-			
純資産合計	10,638	44.7	10,831	46.7	192	1.8
負債純資産合計	23,787	100.0	23,197	100	▲590	▲2.5
自己資本比率(%)	44.7		46.7	-	2	4.8

4. 貸借対照表 ①資産の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末 (2014.3)		当第2四半期末 (2014.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	12,194	63.8	11,578	62.6	▲616	▲5.1
現金及び預金	1,604		1,555			
受取手形	1,463		1,456			
売掛金	4,960		3,955			
商品	3,981		4,407			
その他	184		205			
固定資産	6,920	36.2	6,911	37.4	▲9	▲0.1
有形固定資産	3,454		3,410	(18.4)		
土地	2,313		2,298			
建物	1,051		1,029			
その他	89		83			
無形固定資産	107	(0.6)	93	(0.5)	▲14	▲13.1
投資その他資産	3,358	(17.6)	3,407	(18.4)		
投資有価証券	846		913			
子会社、関係会社株式	1,649		1,649			
保険積立会	671		677			
その他	191		168			
資産合計	19,114	100	18,490	100	▲624	▲3.3

4. 貸借対照表 ②負債・資本の部(個別)

(単位:百万円・%)

	前期末 (2014.3)		当第2四半期末 (2014.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	6,683	(35.0)	5,938	(32.1)	▲745	▲11.1
支払手形	1,667		1,135			
買掛金	1,546		1,498			
短期借入金	1,600		1,800			
1年内返済長期借入金	353		454			
1年内償還予定の社債	710		620			
未払法人税等	340		104			
その他	465		327			
固定負債	2,613	(13.7)	2,599	(14.1)	▲14	▲0.5
社債	1,260		970			
長期借入金	935		1,240			
退職給付引当金	316		287			
その他	102		102			
負債合計	9,296	48.6	8,538	46.2	▲758	▲8.2
純資産合計	9,817	51.4	9,951	53.8	134	1.4
負債純資産合計	19,114	100.0	18,490	100	▲624	▲3.3
自己資本比率(%)	51.4	-	53.8	-	2.4	4.7

5. キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	前第2四半期 (2013.9)	当第2四半期 (2014.9)	当第2四半期の主要項目
営業キャッシュ・フロー	1,450	▲245	税金等調整前当期純利益 395 減価償却費 69 のれん償却費 12 売上債権増減額▲増加 1,020 たな卸資産増減額▲増加 ▲401 仕入債務増減額▲減少 ▲739 未払消費税等の増減額▲減少 ▲73 法人税等の支払額 ▲353
投資キャッシュ・フロー	▲118	68	有形固定資産の取得による支出 ▲10 有形固定資産の売却による収入 24 投資有価証券の売却による収入 66
財務キャッシュ・フロー	▲1,475	211	短期借入金の純増額▲減少 350 長期借入金による収入 600 長期借入金返済による支出 ▲252 社債償還による支出 ▲400 配当金の支払額 ▲86
換算差額	0	1	
増減	▲143	35	
期首残高	2,122	1,929	
期末残高	1,978	1,965	



II. 2015年3月期業績見通し

1. 業績見通し ①連結

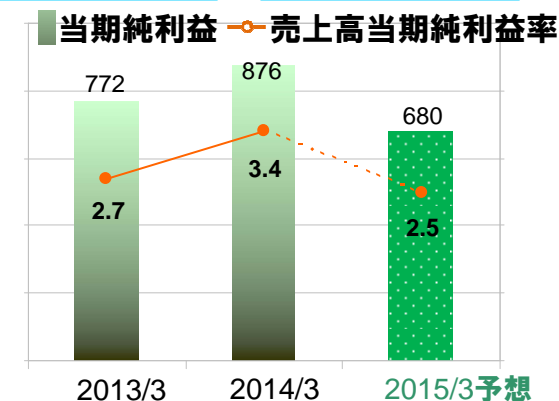
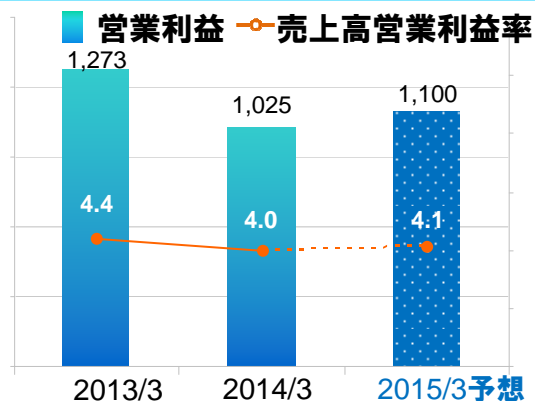
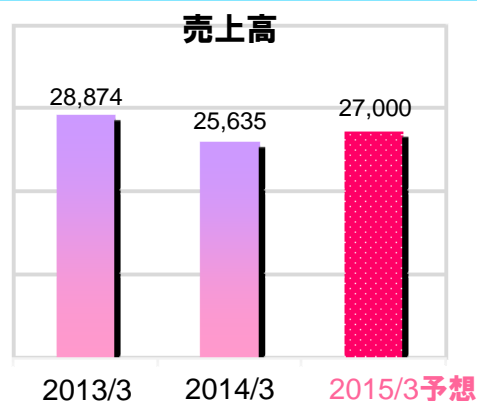
● 2015年3月期予想(2014年10月27日上方修正)

- ・売上高、営業利益、経常利益は増益
- ・純利益は前年の特別利益がなく減益見通し

(単位:百万円・%)

参考

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増 減	増減率	2014.9 実績
売上高	25,635	27,000	1,365	5.3	12,193
資源・金属素材関連	8,603	10,420	1,817	21.1	4,822
産機・建機関連	7,829	7,660	▲169	▲2.2	2,863
環境設備関連	1,285	1,550	265	20.6	808
化成品関連	7,755	7,180	▲575	▲7.4	3,612
不動産賃貸関連	161	190	29	18.0	87
売上総利益	4,107	4,400	293	7.1	1,888
販売費及び一般管理費	3,081	3,300	219	7.1	1,578
営業利益	1,025	1,100	75	7.3	310
経常利益	1,149	1,230	81	7.0	405
当期純利益	876	680	▲196	▲22.4	229
1株当り当期純利益(円)	77.23	59.35	▲17.88	▲23.2	20.03



1. 業績見通し ②個別(ラサ商事)

● 増収、増益の見通し

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	増減	増減率	(参考) 2014年9月期 実績
売上高	17,781	19,700	1,919	10.8	8,528
資源・金属素材関連	8,603	10,420	1,817	21.1	4,822
産機・建機関連	7,829	7,660	▲169	▲2.2	2,863
環境設備関連	1,285	1,550	265	20.6	808
化成品関連	-	-	-	-	-
不動産賃貸関連(その他)	63	70	7	11.1	33
売上総利益	3,689	4,000	311	8.4	1,664
販売費及び一般管理費	2,782	3,000	218	7.8	1,425
営業利益	906	1,000	94	10.4	239
経常利益	987	1,100	113	11.4	279
当期純利益	540	650	110	20.4	175
1株当り当期純利益(円)	47.39	56.47	9.08	19.2	

2. 配当

- 2014.3月期実績 **15円**
【中間】7.5円 【期末】7.5円
- 2015.3月期予想 **15円**
【中間】7.5円 【期末】7.5円

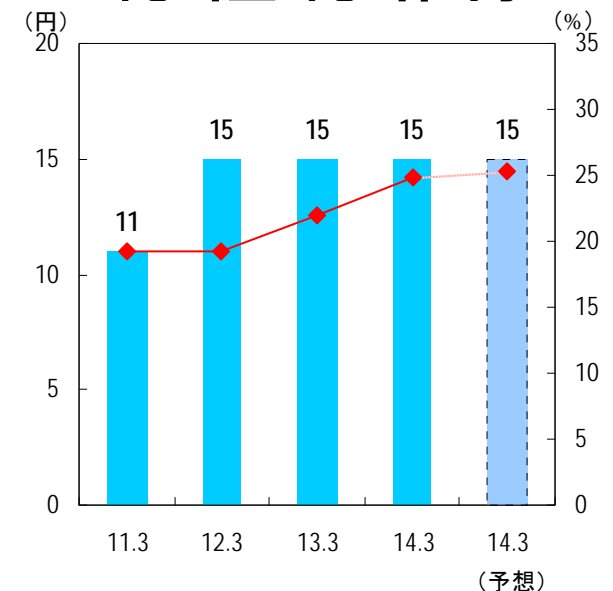
● 配当方針

- 安定配当を行なうこと
- 配当性向20%前後を維持すること

【前期実績】 19.4%

【今期予想】 25.3%

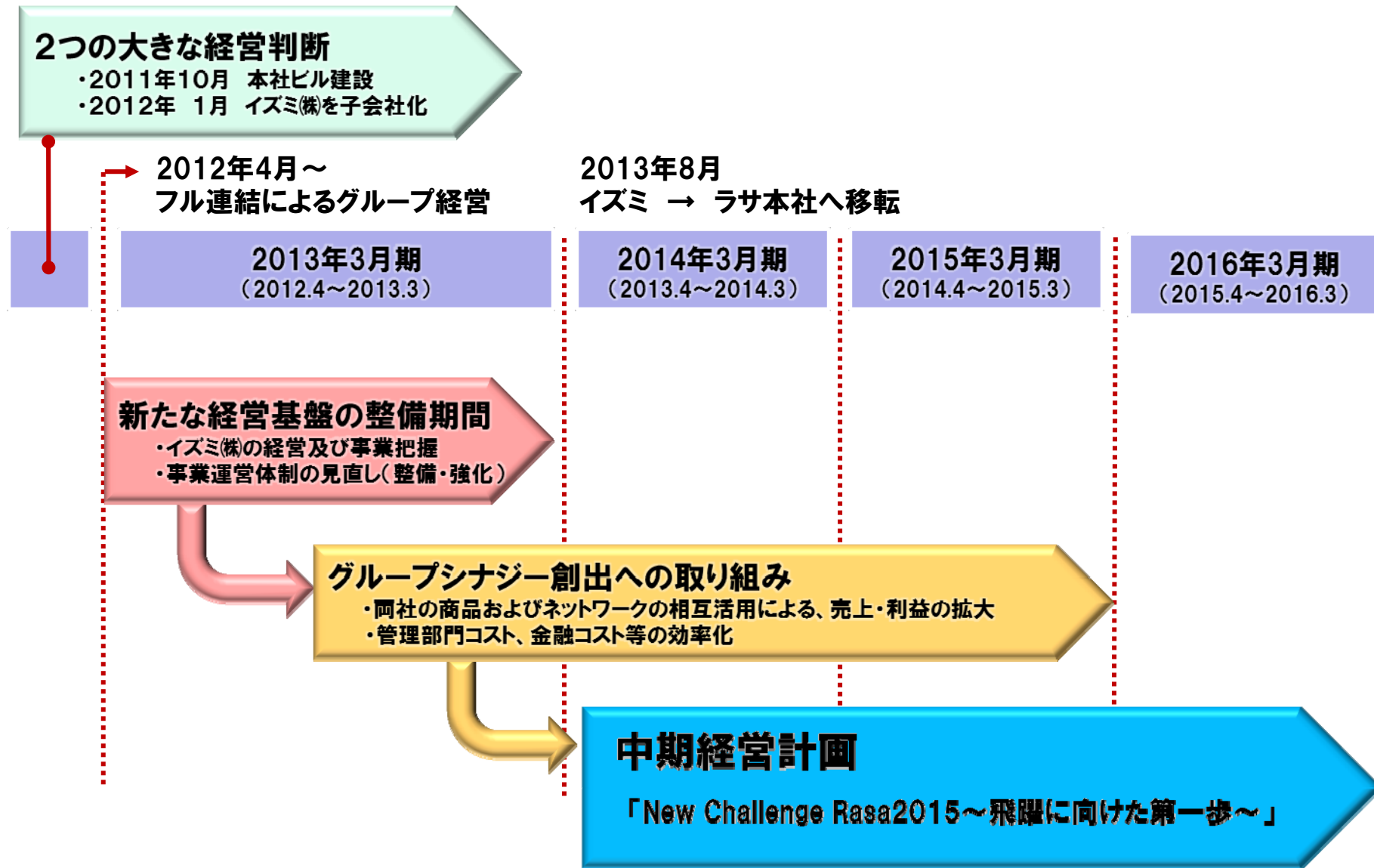
■ 配当金・配当性向





III. 中期経営計画の進捗

1. 中期経営計画について



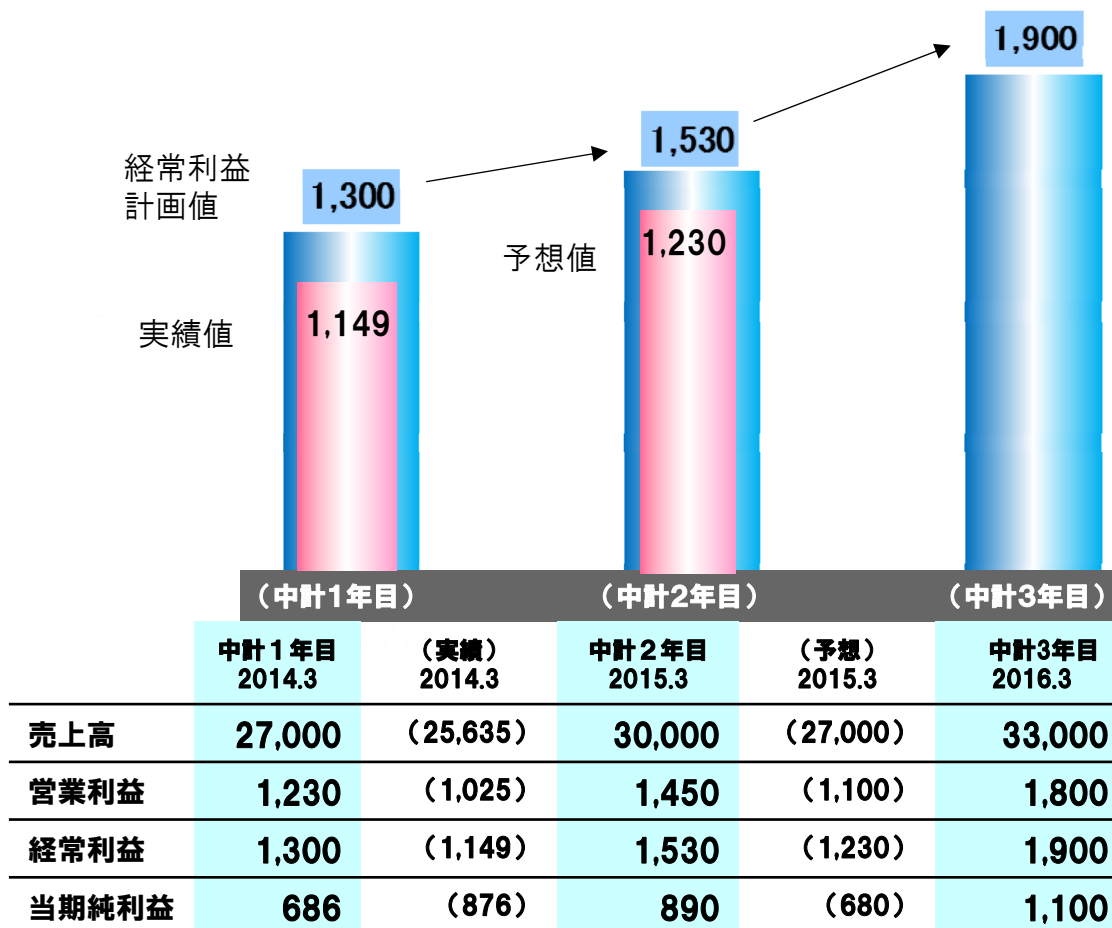
2. 中期経営計画の初年度実績

● 経営指標

- ① 総資産経常利益率 (ROA) は10%以上
- ② 自己資本比率は50%以上
- ③ 自己資本当期純利益率 (ROE) は12%以上

● 経営目標

(単位:百万円)

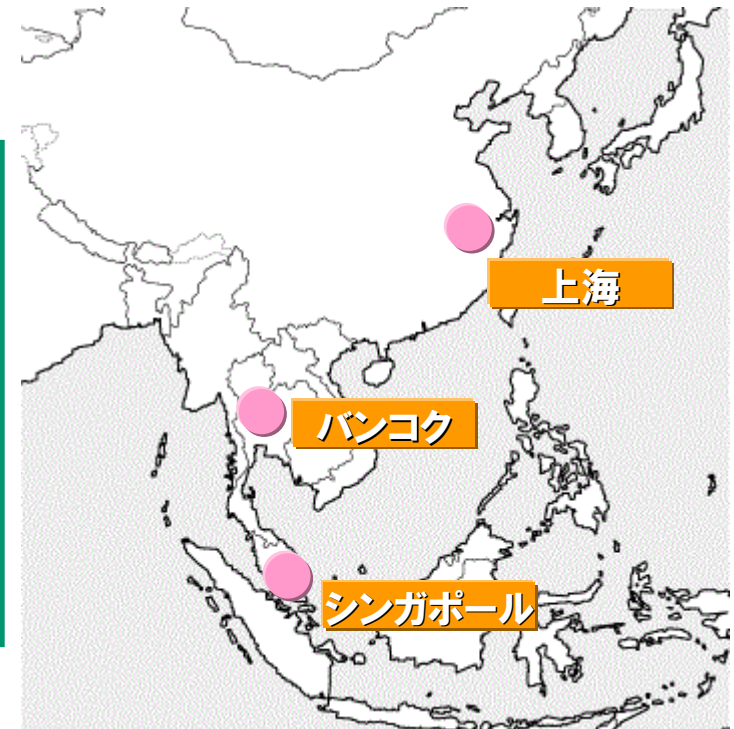


3. 中期経営計画における海外戦略

● アジア地域へのビジネス拡大

2014年4月
シンガポール事務所開設

既存の上海事務所、バンコクオフィス
(イズミ(株))を併せて3拠点体制。



■ インドネシア、ベトナム、インド等、アジア圏でのビジネス拡大を目指す。

■ 資源ビジネス、シールド掘進機等々の販売の拡大

4. 成長戦略 ①資源・金属素材関連

★ 既存事業の深堀りと事業進化

- ジルコンサンド商品の多様化
- 輸入原料の高付加価値化

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- シンガポール事務所開設・・・東南アジア諸国、インドの市場拡大
- 海外事業開発部新設・・・用途開発、新規商品の開拓、新ビジネスの開発



▲ジルコンサンド



▲金属シリコン



▲鱗状黒鉛

4. 成長戦略 ②産機・建機関連

★ 既存事業の深掘りと事業進化

- 更新需要の喚起とメンテナンスサービス体制の一層の充実

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭火力発電関連分野へ注力
- 下水道BCP(津波、高潮、豪雨)対応の汚泥ポンプの開発等
- 機能性材製造業向に注力
- バイオマス、バイオガス分野への注力

機械事業開発部を新設

■ 今後の展開

- CCT (Clean Coal Technology)【クリーンコールテクノロジー】
石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術
- 機能性材料
材料の種類を大きく二つに分けると、その強度を利用する構造的な材料と機能を利用する機能性材料に分けることができます。前者は建物や乗物その他を構築する上で必要であり、後者は触媒、センサー、エネルギー変換等で必要とされます。



▲ワーマンポンプ

4. 成長戦略 ②産機・建機関連

下水道施設のBCP対策
(ゲリラ豪雨・高潮・津波などの水害対策)

据置型ポンプ



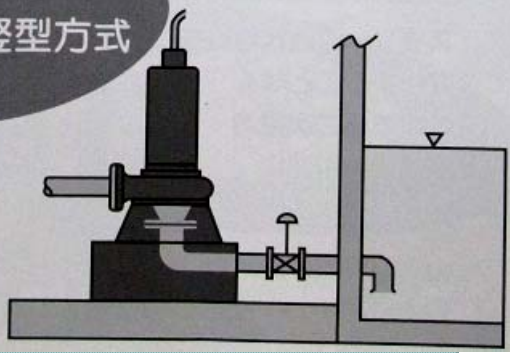
水没しても
運転可能な
水中ポンプ

可搬式ポンプ
(緊急時運搬可能)

近々日本に到着
デモンストレーション
を予定



槽外豎型方式



4. 成長戦略 ③環境設備関連

★ 既存事業の深堀りと事業進化

- 既存ラサ・システム導入先に対する提案・販売の積極化
(自動運転、省エネ運転、ランニングコスト低減商品など)

★ 成長分野への注力と新市場の創造

- 石炭ガス化複合発電(IGCC・IGFC)スラグ処理へのラサ・システムの販売
- 非鉄製錬ユーザーに対するラサ・システムの販売

■ 今後の展開

● 水砕スラグ製造設備

製鉄所の高炉の付帯設備。

製鉄業界では「ラサシステム」として世界的に知られている。

製鉄造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」をセメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所において不可欠な設備となっている。

● IGCC

「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。

従来の石炭火力発電よりも発電効率が高く、石炭を燃料とする発電方式の中ではCO₂の排出量が最も少ない発電方式。

水砕スラグ製造設備



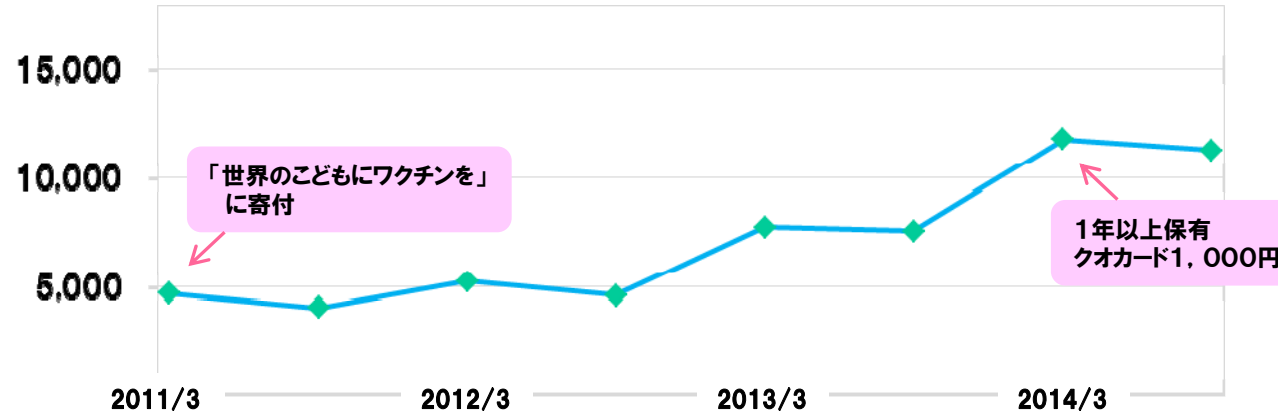


IV. 最近のトピックス

最近のトピックス

●株主数の推移 (単元株以上の株主)

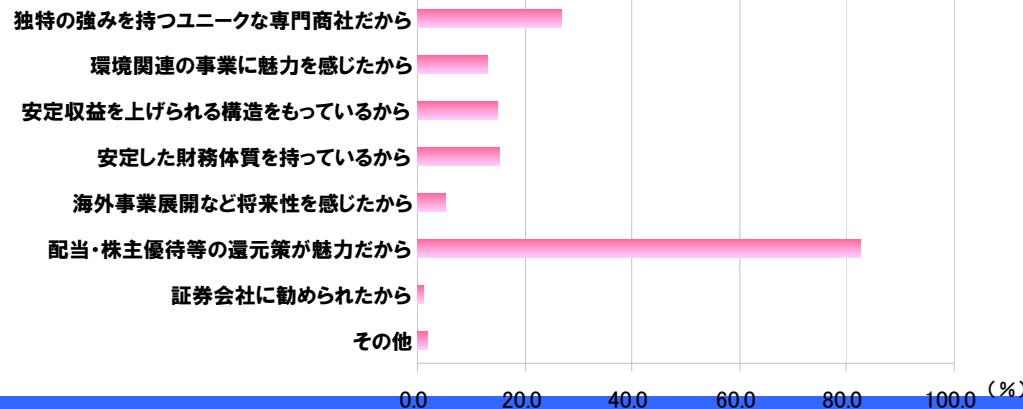
2011/3	2011/9	2012/3	2012/9	2013/3	2013/9	2014/3	2014/9
4,668	4,017	5,233	4,579	7,787	7,609	11,852	11,341



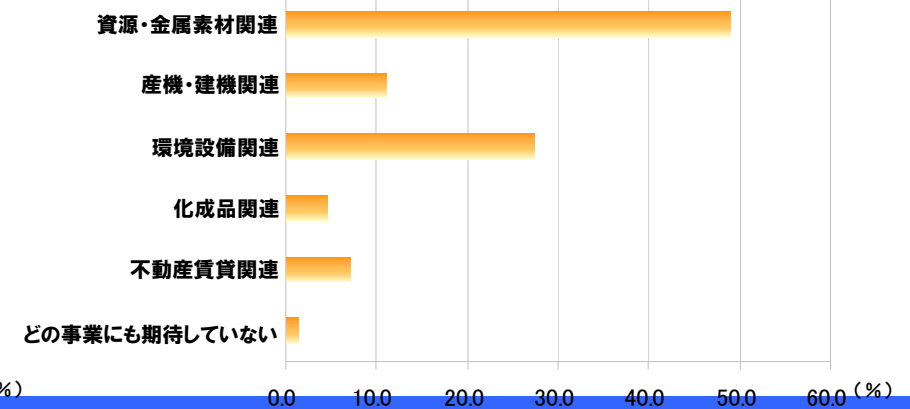
●株主アンケートの結果 (2014.6月)

- 株主12,342名に送付し、1,968名から回答(回収率16%)
- 回答いただいた年齢層・・・30代～40代で50%近く。女性比率は26%
- 保有期間・・・1年未満が50%弱。1～2年が約25%

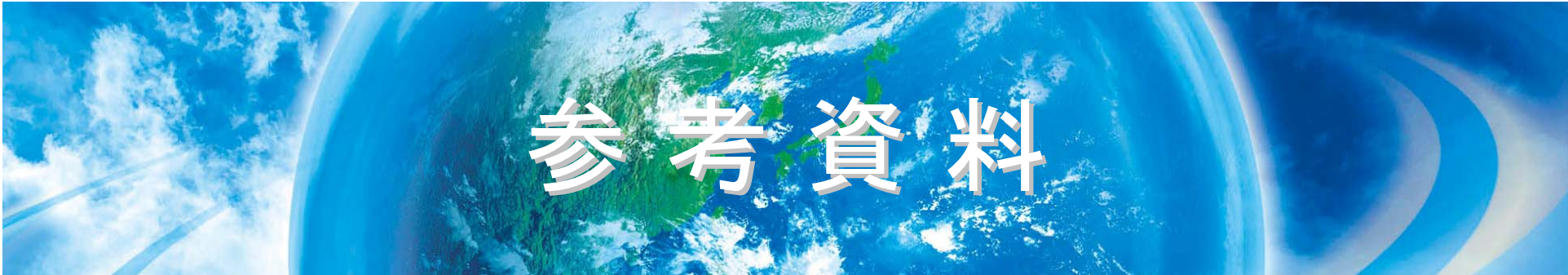
当社株式の購入理由は？(複数回答可)



5つの事業の中で最も期待するものは？



2015年3月期第2四半期 決算説明会



参考資料

用語集 ① 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉱石。「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP（プラズマディスプレイパネル）の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したものの。自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で溶融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。液晶やプラズマディスプレイガラスの溶融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

用語集 ② 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

用語集 ③ 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	<p>製鉄所の高炉の付帯設備。</p> <p>製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。</p> <p>鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。</p>
IGCC	<p>石炭ガス化複合発電。</p> <p>「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。</p> <p>石炭をガス化して得られる高温ガスをガスタービン燃料として発電すると同時に、石炭ガス化炉で得られる蒸気とガスタービンの排熱を回収して得られる蒸気を用いて蒸気タービンでも発電を行う高効率の複合発電技術。</p> <p>IGCCでは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることによって高い熱効率が達成される。</p>
IGFC	<p>石炭ガス化燃料電池複合発電。</p> <p>「Integrated coal Gasification Fuel Cell combined cycle」の略。</p> <p>石炭をガス化して得られるガス化燃料を利用し、燃料電池、ガスタービン、蒸気タービンの3種類の発電形態を組み合わせた、トリプル複合発電を行う高効率発電技術。実現すれば55%以上の送電端効率が可能となり、既存の微粉炭火力に比べてCO2排出量を約30%低減することが見込まれる。</p>
CCT	<p>クリーンコールテクノロジー</p> <p>「Clean Coal Technology」の略。</p> <p>石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術。</p>

用語集 ④ イズミ株式会社関連

用語	内容
塩ビコンパウンド	<p>「ポリ塩化ビニルコンパウンド」の略。</p> <p>「ポリ塩化ビニル」は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリスチレンとともに四大プラスチックの一つ。</p> <p>「コンパウンド」は、英語の「compound」で、「混ぜ合わせる」の意</p> <p>自動車の内外装部品、建材、電線のシース材などに幅広く使用されており、イズミ株式会社の主力商品の一つである。</p>
KES	<p>「環境マネジメントシステム」の規格。</p> <p>「Kyoto Environmental Management System Standard」の略。</p> <p>環境マネジメントシステムとしては、ISO14001が最も有名であるが、これと同様にKESは「グリーン調達」として、取得企業に対する優遇制度がある規格である。</p> <p>イズミ株式会社は2009年5月にこの規格を取得した。</p>